**臨終･葬儀の手引き**

**（天に召される道）**

**カトリック二俣川教会**

**C:\Users\総務\Documents\冠婚葬祭係**

**目　　次**

1. **はじめに**
2. **臨終から日取り決定まで**
3. **通夜から火葬まで**
4. **納　骨**
5. **命日祭**
6. **葬儀社**
7. **教会への献金**
8. **その他**

**✟　天に召される道 （臨終～葬儀～命日）**

**１．はじめに**

　　命ある全てのものはいずれ死を迎えます。ところが、いざその時になると残された

　家族は悲しみのあまり戸惑いばかりで、多くの方は何をどうしてよいか分かりません。

　そこで、家族の方にも基本的なことを前もってご理解いただくために、この「手引き」を作りました。ご参考になさってください。

**２．臨終から日取り決定まで**

**①教会への連絡**

　◇死を迎えそうな重病、重症の方が家族におられる場合、あるいは臨終を迎えたときは、

　　まず**司祭または教会事務所（045-391-6296）にご連絡ください**。　可能であれば、

　　司祭が病者を訪問し、「ゆるしの秘跡」「病者の塗油」を行い、「聖体」を授け、主

　　のもとへの旅立ちの準備をします。

**②病院で亡くなられた場合**

　◇通常、ご遺体の処置や医師による死亡診断書の作成等があるため、病院からの搬出

　　までに２～３時間かかります。まず、教会事務所や葬儀社に連絡をしましょう。

　◇ご遺体は葬儀社に依頼して、自宅に帰るか、葬儀社に安置をお願いすることになり

　　ます。また、病院を出る際、死亡診断書は必ず持ち帰りましょう。

　◇葬儀社は病院側が紹介してくれるケースもありますが、必ずしもキリスト教の葬儀に

　　精通しているとはかぎりません。出来れば、教会での葬儀経験もある信頼できる

　　葬儀社の方が良いと思いますので、**教会事務所にご相談ください。**　尚、ご遺体搬送

　　と通夜・葬儀を異なる葬儀社にお願いすることも可能です。葬儀社をどうするか、

　　ハッキリと病院側に告げることが必要です。

**③自宅で亡くなられた場合**

　◇かかりつけの主治医がある場合は、そちらに連絡し、死亡診断書を作成していただく

ことになります。その他の場合には、救急車を呼び、必要であれば警察に連絡します。

同時に、教会事務所や葬儀社にも連絡しましょう。

**④日取りの決定**

　◇一般的に死亡翌日か翌々日に通夜、通夜の翌日に葬儀・告別式となります。日程に

　　ついては、ご遺族の希望が尊重されますが、教会の都合、火葬場の都合もあります

　　ので、ご遺族、教会、葬儀社の三者での調整が必要です。

１

**⑤納　棺**

　◇葬儀の日程などで納棺の日時も決まります。家族だけでなく、司祭または奉仕者が

　　納棺に立ち会い祈ることもできます。

　　尚、教会への棺の搬入は、通夜（または葬儀）の３時間前位となります。

**３．通夜から火葬まで**

**①通　夜**

　◇遺族の方々と共に、故人を偲び祈るために「通夜の儀」が行われます。

　　通常は、教会で行われることが多いですが、自宅で行うこともできます。

　◇「通夜の儀」は、教会準備の冊子「葬儀のしおり」によって行われます。

　◇教会で行われる場合は、原則として、先唱、侍者、オルガン、聖歌隊、案内、

　　献花渡し等、聖堂内のことは教会側で奉仕いたします。また、聖堂外の受付等

　　は、ご遺族側にお願いしていますが、ご希望があればお手伝いいたします。

　◇参列者への感謝を兼ねて、２階集会室で「通夜振る舞い」（通夜の食事を供応する

　　場）を設け、故人を偲びながら語り合う時を持つこともできます。料理については、

　　直接葬儀社にご相談ください。使用時間は午後９時までとなり、宿泊はできません。

**②葬儀・告別式**

　◇復活の希望のうちに、全てを神にゆだね、神の慰めを受け、故人との別れを告げる

　　大切な儀式です。

　◇「葬儀・告別式」は、教会準備の冊子「葬儀のしおり」に従って行われますが、

　　式の中で、故人が生前に好んでいた「聖書の箇所」や「聖歌」などを希望すること

　　もできます。司祭とご相談ください。

　◇普通は「ミサ形式」ですが、「ことばの祭儀」の方法もあります。司祭とご相談

　　ください。

　◇通夜同様、原則として、先唱、侍者、オルガン、聖歌隊、案内、献花渡し等、聖堂

　　内のことは教会側で奉仕いたします。また、聖堂外の受付等は、ご遺族側にお願い

　　していますが、ご希望があればお手伝いいたします。

**③火　葬**

　◇司祭または奉仕者が同行し、火葬が始まる前の祈りをします。

　◇火葬の後は、埋葬許可書を受け取り、納骨までご遺骨とともに保管してください。

２

**４．納　骨**

　◇納骨の日取りや方法には特に規定はありません。日本の習慣に従って四十九日ごろ

　　に行われることが多いようです。

　◇遺族だけでもできますが、司祭に依頼する場合は日取りをご相談ください。

　◇納骨日に「ミサ依頼」される場合、当日ご遺骨と遺影を教会にお持ち下さい。

ミサ中は祭壇前に安置いたします。

　◇納骨する墓地がない場合、教会事務所にご相談ください。

**５．命日祭**

　◇亡くなった人のために祈ることは、人として極めて自然で大切なことです。日本の

　　習慣では仏教の影響もあり、初七日、一周忌、三回忌等と特別に祈る期日が言われ

　　ますが、カトリックには特別に決まった期日はありません。日曜日あるいは平日の

　　ミサの中で、司祭に祈っていただくよう「追悼の意向」を依頼することができます。

　　また、個人的に「追悼ミサ」を希望される方は平日でもできます。「追悼ミサ」を

　　行う時はご遺影をお持ちください。

　◇日本の習慣にならい春分の日、お盆、秋分の日、およびその前後に「ミサ依頼」

　　することも、故人を偲び祈る一つの機会と言えます。

　◇カトリック教会では、死者のために共同体として祈ることも大切にしています。

　　11月は「死者の月」として祈り、特に２日を「死者の日」と定め、ミサを献げ、

　　祈っています。

**６．葬儀社**

　◇葬儀社の選択はご遺族の自由です。葬儀は華美に走らぬように心がけましょう。

　　祭壇、棺、お花などの準備については、ご遺族が直接葬儀社とご相談いただくこと

　　となります。依頼する葬儀社が分からないなど判断に困られた場合は、教会事務所

にご相談ください。ご紹介いたします。

**７．教会への献金**

　◇通夜、葬儀、追悼式などの謝礼は、それぞれの方の生活に見合った額で、教会への感謝の気持ちを「献金」していただければ幸いです。献金額は、概ね１５万円（通夜がない場合は１０万円）程度の方が多いようです。

　　その他、教会側の奉仕者への個別の謝礼などは必要ありません。

 特別に事情のある場合は教会事務所で承りますので、お気軽にご相談ください。

３

**８．その他**

**①緊急洗礼**

　◇死の危険にある成人は、キリスト教信仰の主要な真理に関してある程度の知識を

　　有し、受洗の意思を何らかの方法で明示した場合に、洗礼を受けることができます。

　◇受洗を望まれる場合、病床に司祭を招いて洗礼を受けることができます。

病者がその希望を持っているときは、早めに司祭に伝えましょう。

　◇司祭を招く時間がない場合は、誰でも洗礼を授けることができます。　その場合は、

　　「水」を額に３回注ぎながら、「○○さん、私は父と（水を注ぐ）子と（水を注ぐ）

　　聖霊（水を注ぐ）の御名によって、あなたに洗礼を授けます」とはっきり声を出し

　　て行ってください。授けて後、なるべく早く司祭と教会事務所へご連絡ください。

**②病者の塗油**

　◇重い病気になった時、大きな手術を受ける時などに司祭から「病者の塗油」の秘跡

　　を授けていただき、神とともにこの十字架を引き受ける心を励ますことができます。

　　そのような状況の際には、司祭にご連絡ください。尚、「病者の塗油」は何回でも

　　受けることができます。同時に「ゆるしの秘跡」も受けられます。司祭へのお礼は

　　必要ありません。

**③家族の中で自分一人だけが信者の場合**

　◇キリストの復活の恵みにあずかることを信じる私たちにとって、死は忌むべきこと

　　ではなく、地上において信仰を証しする最後の大事な機会です。意識のある間に

　　司祭を呼び、「病者の塗油」「ゆるしの秘跡」を受け帰天の準備をすること、また、

　　帰天に際し、教会共同体として通夜、葬儀を行うことは、大変望ましいことです。

　◇そのためには、周囲の人の助けを必要とします。生前から家族や身近な方々に、

　　自分の「臨終の際の手配」や葬儀はカトリック教会で執り行って欲しいという希望

　　などについてよく話し、理解を得ておきましょう。

　◇お寺で管理されている家族の墓に納骨する場合には、仏式の葬儀・戒名などの条件

　　を付けられることもありますが、それらを受け入れられても差し支えありません。

**④信者の家族で、洗礼を受けていない人の葬儀を教会で行いたい場合は、司祭にご相談ください。**

**２０１５年**

**教会委員会**

４

|  |
| --- |
| **家族への覚書は遺言状のように法律的な拘束力はありませんが、特に家族親戚の方には、****記載されていることを遺言状のように、尊重され、実行していただけることを教会は希望します。****家族への覚え書き** |
| **氏　　名****生年月日** | **年　　　　　月　　　　　日** |
|  **受洗年月日****受洗教会** | **年　　　　　月　　　　　日****教会** |
| **洗礼名** |  |
| **臨終・死亡の時の連絡先** | **カトリック二俣川教会　045－391－6296** |
| **延命治療** | **（脳死状態または昏睡状態になった場合）****希望する　　・　　希望しない** |
| **通夜の場所** | **教会　・　自宅****その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| **通夜の時の会食** | **あり　・　なし** |
| **葬儀の場所** | **教会****その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）** |
| **葬儀社** | **教会の紹介　・　特に希望なし** |
| **埋葬場所** | **（　　　　　　　　　　　　）墓地 ・ 霊園 ・ 納骨堂** |
| **家族への希望** |  |
| **教会への希望****（好きな聖書・好きな聖歌）** |  |
| **その他の希望****（花・音楽など）** |  |
| **記載日と署名** | **年　　　　　　月　　　　　日** |

**＊　教会での保管を希望される方は、事務所にお申し出ください。**

５

**カトリック二俣川教会**

**〒241-0821　 横浜市旭区二俣川２－３６**

**教会事務所TEL：０４５-３９１-６２９６**

**(事務所不在の場合は司祭につながります)**

**FAX : ０４５-３９１-６２９４**

**Ｅ-mail：office@futamatagawa-cc.com**